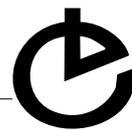


議会だより とくのしま



第184号

平成28年8月1日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 11111 FAX 0997 (82) 1101



5月19日に開催された奄美群島市町村議会議員大会（喜界町）

第2回定例会

6月7日～9日

☆ 審議された案件と議決結果、議会の動き

6

☆ 一般質問（9氏登壇）

7

☆ 研修レポート・編集後記

14

6 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・徳之島町行政不服審査法の規定による提出資料等の写し等の交付に係る手数料に関する条例の制定	原 案 可 決
・徳之島町嘱託駐在員報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・徳之島町へき地保育所設置条例の一部を改正する条例	原 案 可 決
・過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	可 決
・総合整備計画の一部変更	可 決
・平成 28 年度水槽付消防ポンプ自動車(水-1A型)購入契約の締結	可 決
・監査委員の選任	同 意
・平成 28 年度一般会計補正予算(第 2 号)	原 案 可 決
・平成 28 年度簡易水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	原 案 可 決
・平成 28 年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第 1 号)	原 案 可 決
・平成 28 年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第 1 号)	原 案 可 決
・平成 28 年度介護保険事業特別会計補正予算(第 1 号)	原 案 可 決
・平成 28 年度公共下水道事業特別会計補正予算(第 1 号)	原 案 可 決
・平成 28 年度水道事業会計補正予算(第 1 号)	原 案 可 決
(報告)	
・繰越明許費	

4 月臨時会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果
(議案)	
・専決処分(平成 27 年度一般会計補正予算第 11 号)	承 認
・専決処分(徳之島町税条例の一部を改正する条例)	承 認
・専決処分(徳之島町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	承 認
・専決処分(徳之島町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例)	承 認
・専決処分(徳之島町用水基金条例の一部を改正する条例)	承 認
・徳之島町報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例について	原 案 可 決
・平成 28 年度一般会計補正予算(第 1 号)について	原 案 可 決
・副町長の選任について	同 意

議会の動き

日	内容
4月 29日	徳之島町地域農業総合対策推進協議会総会
4月 28日	徳之島町地域女性団体連絡協議会総会
4月 26日	徳之島町農業者協議会
4月 25日	県政説明会及び県庁奄美会懇親会(鹿児島市)
4月 24日	県政説明会及び県庁奄美会懇親会(鹿児島市)
4月 22日	スティブアル・総会
4月 20日	しじゅうにこにこフェスティバル・総会
4月 18日	在鹿徳之島町郷友会総会(鹿児島市)
4月 15日	祭・懇親会
4月 14日	第 3 回議会だより編集委員会
4月 13日	地域リーダーと語る会
4月 12日	第 53 回富山丸慰霊祭
4月 11日	迎会
4月 10日	小中学校管理職等歓迎会
4月 9日	宣誓式及び研修会
4月 8日	小中学校転入教職員
4月 7日	議長事務局長合同会(奄美市)
4月 6日	講演会及び懇親会
4月 5日	日本体育大学調印式・講演会及び懇親会
4月 4日	町内各小中学校入学式
4月 3日	交通安全運動出発式
4月 2日	第 49 回戦艦大和慰霊祭(伊仙町)
4月 1日	日本体育大学調印式・講演会及び懇親会
5月 27日	学土村塾開講式
5月 26日	シルバー人材センター平成 28 年度定時総会
5月 21日	議会運営委員会
5月 20日	奄美群島各種協議会総会(奄美市)
5月 19日	徳之島地区防犯組合連絡協議会役員会(伊仙町)
5月 18日	第 2 回定例会開会
5月 17日	第 2 回定例会閉会
5月 16日	三方町議会議員奉仕作業(天城町 B & G)
5月 15日	第 42 回消防協会大会
5月 14日	島支部消防操法大会
5月 13日	第 1 回議会だより編集委員会
5月 12日	第 29 回トライアスロンIN徳之島大会カーボパーティー(天城町)
5月 11日	第 29 回トライアスロンIN徳之島大会
5月 10日	臨時総会及び議員研修(鹿児島市)
5月 9日	議長研修会(鹿児島市)
5月 8日	第 42 回地域女性連大運動会

いっばん質問

6月定例会には、9人の議員が登壇し、農業政策、食品加工センター、安全対策、少子化対策、スポーツ振興、観光行政など町政全般にわたり執行部の考えをたどりました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

将来に向けて農地集積を

徳田 進 議員

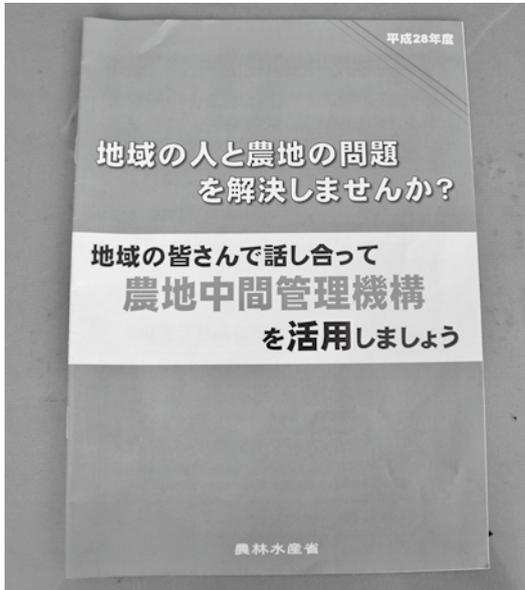


問 農地集積は、将来に向けた農業振興政策である。*人・農地プランの作成作業での問題点や*農地中間管理機構の意義とそれによる農家のメリットは何か。

また、本政策における農業委員会の役割と政策の将来展望は。

*人・農地プランとは、農家の高齢化や後継者不足、耕作放棄地の増加等地域が抱える人と農地の問題を解決するための計画。

*農地中間管理機構とは、農地の集積を支援する目的で農地の出し手と担い手の間に入り農地の賃借を行う公的機関。



農地中間管理機構の啓発パンフレット

農地の中間的受け皿

答 東農林水産課長
現在、プラン作成のため話し合い活動を各地区で開催しているが、農家の参加が少ない。同機構は、信頼できる農地の中間的受け皿であり、借り受け者は、農地を集積・集約することで農作業の効率化・生産性

の向上が図られ、安定した農業経営を行うことができる。

農業委員会の役割

答 福永農委事務局長
農業委員会の役割は、農地法による賃借を同機構を通じた賃借へ移行することと、「人・農地プラン」集落組織の話し合いによる

認定農家・担い手への集積を推し進めることなどである。

農業委員会との連携を

答 高岡町長
農地集積には、農業委員会の協力が不可欠である。今後、農業委員会と農地集積に向けて連携をとっていきたい。

加入率85%達成は可能か

幸 千恵子 議員



入防止対策は、工事費用債務の金額と返済方法は、

達成に向けて推進

答 深水利地課長
各畑かん事業地区の推進員協力で目的達成に向けて推進する。土地改良区組合員数は3759人。平成29年度までの加入予定面積は351haで加入率は10%となる。

適正な処理を

お願い

答 東農林水産課長
徳之島ダム流域で雨水が直接水路等に流れ出る畜舎はないようだが、家畜排せつ物の管理の適正化について、今後3町で協議を行い、適正に処理するように指導をお願いしたいと考

える。

一括償還する

答 岡元総務課長

本町の徳之島用水負担金は、約5億6千万円。分割償還すると利子が加

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

算され総負担額が多額になる。基金を4億8千万円まで積み立てた上で、残り8千万円は、過疎対策事業債を適用して一括償還する。

宝の持ち腐れか

問 美農里館が開設までに揃えた機械の数と金額は。購入先は何社か。

一度も使っていない※スプレードライは3700万円余り。使わなければ宝の持ち腐れになるが、今後使う計画はあるか。また、開設後に購入した機械の数と金額は。

※スプレードライとは、液体などを急速に乾燥させ粉末状にする機械のこと。

新たな商品作りに活用

答 幸田地域営業課長

開設前の機械購入費は、1社で2億5千万円余

り、スプレードライは、今後の新たな商品作りに活用を計画している。

開設後に購入した機械は、9種類1500万円である。

全通学路に外灯設置を

問 全通学路の危険箇所

の安全面はどうなっているか。また、ハブの危険性もある、通学路に外灯を設置してほしい。全学校の実態を調べ、町として必要

性の高い順に外灯を設置できないか。

防犯灯設置

補助金を

答 向井学校教育課長

本町は、平成24年度に通学路の一斉点検を行い38カ所危険箇所が見つかった。

防犯灯設置の際は、現在1基につき町より1万円の補助がある。設置要望を各地区駐在員に提出していただきたい。



外灯の設置された危険箇所

住民の要望を確実に

是枝 孝太郎 議員

トイレについては、患者の親族や救急隊員の衛生を考慮して整備したい。

子どもたちの

安全を

問 徳之島町救急用ヘリ

コプター場外離着陸場の数年間の搬送件数は。また、一分一秒でも速く離着陸場に到着するには道路整備が必要であり、同離着陸場にトイレ設置の要望もあるが見解を伺う。

答 日本一犯罪の少ない徳之島町づくりのため、通学路等に防犯灯など防犯設備を設け子どもたちの安全を守ることはできないか。

また、原野火災などに対応する備品を各分団に配備できないか。

防犯等設置と

維持費

問 岡元総務課長

平成26年45件、27年26件、28年5月末現在13件となっている。患者の負担や搬送時間を考えると、亀徳・井之川線及び進入路の拡幅や整備は必要。

答 向井学校教育課長

防犯灯設置は、総務課で各地区駐在員からの要望を取りまとめ、補助を行っている。要望される場合は、駐在員に申し込んでもらう。

ただし、維持費(電気代等)は、各地区の負担となる。

優先して設置

答 岡元総務課長

通学路の防犯灯は、維持管理費用等、各学校の了解が得られた場合は、優先的に設置する。

効果のある

防災整備を

問 本町消防団の各分団における備品の現況について伺う。

また、原野火災などに対応する備品を各分団に配備できないか。

助成事業で

備品整備

答 岡元総務課長

備品は、修繕や購入が必要な物は随時予算措置している。今後は、*コミュニティ助成事業等を活



待機する消防団車輛

用して、各自主防災組織へ防災備品を順次整備していく。
山野火災については、積載可能な消防車に高圧噴霧消火装置の配備を考えたい。

※コミュニティ助成事業とは、地域・集落活動に必要な備品や集会施設の整備等、地域づくりに対して行う宝くじの社会貢献広報事業のこと



建て替えが待たれる本庁舎



宮之原 順子 議員

防災拠点施設と庁舎建設計画は

問 熊本地震で市役所等が被害を受け、対策本部としての機能を失った。本庁舎も建設後42年を経過したが、耐震強度は大丈夫か。防災拠点施設の設計画や庁舎の建て替え計画はないか伺う。

防災拠点施設・新庁舎建設へ取り組み

答 岡元総務課長
東側別館は、新耐震基準で建設されているが、本庁舎は旧耐震基準で震度5程度の地震に耐え得る。防災拠点施設は、給食センターの移転計画と並行して進める。庁舎の建て替えは今後、庁舎整備基金を積み増しした上で、平成37年度に着手したい。

コンビニ納税導入で税込アップ

問 コンビニ納税を導入している自治体は税込もアップしている。仕事も休まなくても納入ができると好評。本町でも早期導入を望む町民の声が多い。昨年9月質問後のコンビニ納税導入への進捗状況は。

導入へ向け協議中

答 秋丸収納対策課長
現在、町税及び各種使

用料等のコンビニ納付導入に向け、収納対策課・健康増進課・介護福祉課・建設課・水道課・総務課等の担当者で協議を行っている。

海の表玄関を美しく

問 世界自然遺産登録に向けて町民の方々の美化意識も徐々に向上しているが、海の表玄関である亀徳新港の記念植樹帯は管理が行き届いていない場所も見受けられる。昨年質問後の記念植樹帯の管理状況はどうなっているか。

管理体制の整備を

答 住田企画課長
管理団体等からの意見により水道を設置することにした。花や植物が管理できる環境を整えながら、今後の管理体制の確認を行い、また、管理できていない区画については、新たな管理者を募りたい。

溝水排水パイパス工事

富田 良一 議員



問 集中豪雨・台風時は、県道糸木名・亀津線の排水溝から水が高く噴出し、県道には小石なども多く流れ出て大変危険だ。以前から南区が要望している奥名川の排水溝パイパス工事を早急に進めるべきでは。



大雨時の亀津カーシティ前

県と協議を 図りながら

答 亀澤建設課長

現在、雨水基本計画を策定中で、県も県道の排水を処理するため、町の計画に合わせ事業を進められるよう予算要望を行いたいとのこと。今後県と協議・連携を図りながら早急の実施を考えている。

徳和瀬住宅跡地利用は

松田 太志 議員



問 徳和瀬住宅の老朽化に伴い本年度予算において、とり壊しが行われた。定住促進、空き家対策等行っているなかで、町としてどのような方向性を考えているのか。また、地域からの要望等は挙げられていないか伺う。

徳和瀬住宅の老朽化に伴い本年度予算において、とり壊しが行われた。定住促進、空き家対策等行っているなかで、町としてどのような方向性を考えているのか。また、地域からの要望等は挙げられていないか伺う。

平成32年度以降 の予定

答 亀澤建設課長

徳之島町公営住宅等長寿命化計画の中で徳和瀬団地建て替えについては、平成32年度以降の建て替え予定となっている。地域からの要望が挙

バス利用の 安全確保を

がっているのは、徳和瀬・花徳地区の2件である。

問 小郷・阿田野平町営住宅地に隣接するバス停留所は、カーブなどでの乗車で危険な状態である。安全確保や住民サービスの向上を考えると不便に見えるが当局の見解を伺う。

小郷・阿田野平町営住宅地に隣接するバス停留所は、カーブなどでの乗車で危険な状態である。安全確保や住民サービスの向上を考えると不便に見えるが当局の見解を伺う。

見通し改善を

答 住田企画課長

町営住宅敷地内へのバス停設置についても、危険性があり難しい。道路脇の樹木の伐採等により運転手からの見通し改善が図れると考える。

小郷住宅の 駐車場整備を

問 小郷住宅は、駐車場不足から通路に車を駐車している現状が見られる。緊急車両の通行を妨げるほか、子どもたちにとっても危険な環境であり、早い対応が必要だが今後の対策は。

小郷住宅は、駐車場不足から通路に車を駐車している現状が見られる。緊急車両の通行を妨げるほか、子どもたちにとっても危険な環境であり、早い対応が必要だが今後の対策は。

利用の少ない 空き駐車場へ

答 亀澤建設課長

小郷住宅の現状として複数所有の世帯が多いため、居住者の方へ利用者の少ない3号棟裏側駐車場等への駐車をお願いを周知し、改善を図りたい。



乗降の危険な小郷バス停留所

あなたのご意見をお寄せください

議会に対する質問や意見、または本紙に対する意見や希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局 ☎82-1111 (内線331番)

アンテナショップの 地元産の仕入れ額は

勇元 勝雄 議員



問 アンテナショップの
設立目的は達成でき
たのか。

また、地元から仕入れ
た食材の年度別の仕入れ額
はいくらか。

提示については

再度理解を

答 幸田地域営業課長

現在、独自の情報発
信や島料理で交流人口の拡
大につなげ、リピーターも
増えている。徳之島の物産
を紹介して販路も拡大して
いる。

経営者として個人的プ

ライブートで申告も行って
いる。地元産の仕入れ額の提
示について再度理解を求め
ていきたい。

山以北に
スタンドの設置を

問

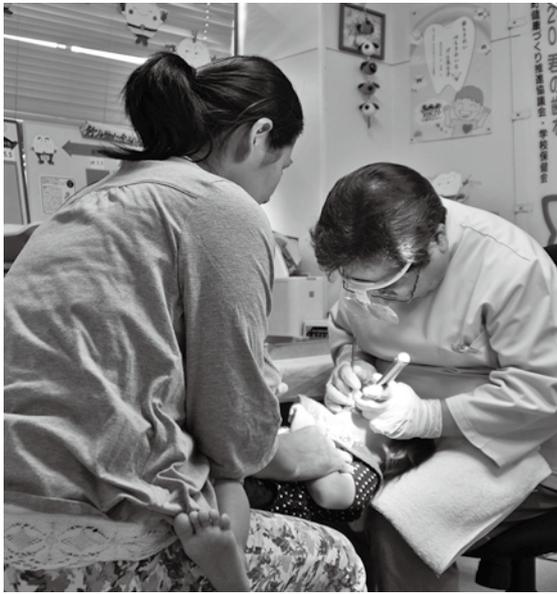
山のガソリンスタン
ドの閉鎖によって、
山以北の住民は非常に困っ

検討が必要

答 瀬川支所長

町補助金による整備、
公設民営は、事業運営者の
維持管理費など経費面や、
他集落の同業者との兼ね合
いなど課題が多い。今後、
集落検討会や具体的な調査
を実施し、地元住民の意見
を踏まえ、さまざまな角度
から検討が必要である。

ていると思う。北部振興
地方創生、住民の利便性の
ためスタンド設置を補助金
または、公設民営でできな
いか。



乳幼児健診の様子

乳幼児医療の
無料化を

問

乳幼児医療の無料化
は日本全国、県下の
市町村でも多く実施してい
る。本町は郡内でも助成が
低く、下位四、五町村に入っ
ている。そのうち1町は来
年から無料化を実施の予定
だが、本町も実施できない
か。

子育て支援に配分

答

高岡町長
医療費等は、生活保
護世帯、非課税世帯が無料
で、所得額により有料と
なっている。医療費の無料
化は、結果的に所得の高い
人が有利となり、経済格差
が広がってしまう。教育に
力を入れ、子育て支援に予
算を配分すべきと考え、無
料化は現在考えていない。

スポーツ振興の目的とは

木原 良治 議員



問

去る4月13日、日体
大と調印された「体
育・スポーツ振興に関する
協定」の目的とは。

徳高空手道部が28年連
続全国大会に出場中であ
る。各種目の国体指定強化
選手に対する支援策は。

多くの交流を

答

深川社会教育課長
同大学所属の指導者・
選手を招いての講習会やス
ポーツ教室等の開催で競技
力の向上を図る。また、町
からの遠征時に大学のス
ポーツ施設や宿泊施設の利

強化選手について
支援検討

答

高岡町長
本町から国体指定強
化選手が出たときは、町と
しての支援は必要と考え
る。

職員の地域

貢献の意義

問

役場職員の地域活動
(地区公民館、スポー
ツ少年団、ボランティア等)
への参加の現状と評価は。
また、新規採用の36人も含
めた職員の地方公務員とし
ての職責と地域貢献はどう
あるべきか。

(次ページへ続く)

(前ページからの続き)

行事等への参加を

答 深川社会教育課長
 各自治公民館長へのアンケートでは、職員の参加状況は、「良い」・「普通」の評価で7割。

スポーツ少年団指導者は、22団体中10団体で14人。ボランティア活動では、清掃活動には参加しているが、その他の行事にも積極的な参加を希望している。



28年連続全国大会出場中の徳高空手部

地域貢献も 職員の使命

答 岡元総務課長

離島における役場職員とは、都会の公務員と違い職務のみ遂行すればよいというものではない。地域貢献には、各種ボランティアや少年団の指導あるいは、各種競技や文化活動の運営、集落行事等さまざまな方法がある。また、在住集落や出身集落に対して、自分は何ができるか考え行動すべきである。

闘牛パレードの実現を

鶴野 将光 議員



問 どんどん祭りや闘牛パレードを実現し、

世界自然遺産登録と相まって、唯一無二の自然と唯一無二の闘牛文化との相乗効果を最大限に引き出し、世界にたったひとつの観光地を形成していくべきでは。

安全面も

十分に考慮

答 幸田地域営業課長
 観光面、闘牛文化の発信においては魅力あるものと考え、全島一チャンピオンや引退した名牛の参加で、観光客のみならず島民の方々にも目玉となるパ

レードだと考える。安全面も十分に考慮しながら検討していきたい。

実現は可能

答 高岡町長
 闘牛パレードは、関係者の話を集約すると実現可能だと思う。

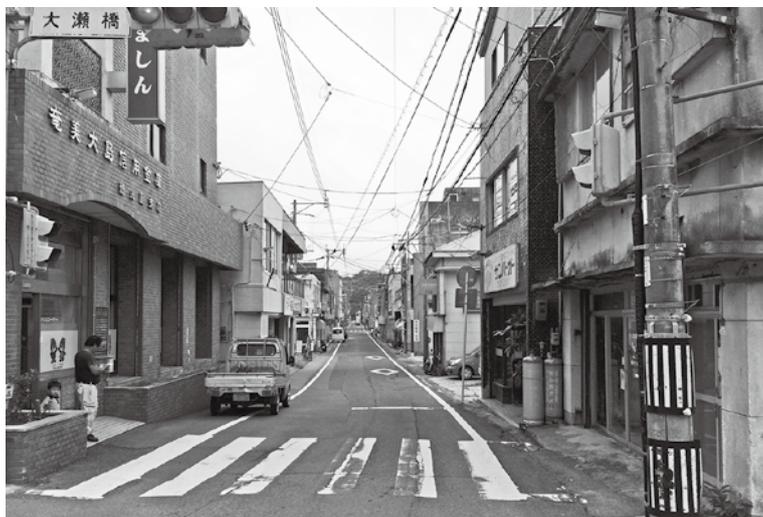
中央通りの生まれ変わりに期待

問 亀津中央通り商店街は、

これから観光客増加を想定した街づくり、通学路としての安全を確保した街づくりが必要ではないか。

広く要望を聞く

答 高岡町長
 大きな構想を描くのは、いいことだと思う。拡幅や道路拡張については、今後、中央通り協議会等の意見を聴取しながら進めたい。



生まれ変わりが期待される商店街

定例会の様子をインターネットでご覧いただけます。

町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 82-1111 (内線 331 番)

第59回 奄美群島市町村議会議員大会

第59回奄美群島市町村議会議員大会が、5月19日に喜界町で開催されました。

当日は、喜界町体育館で郡内12市町村から議会議員、市町村長のほか、奄美群島選出の禧久伸一郎、永井章義、向井俊夫、林健二の県議会議員等が出席されました。大会の中で、会長あいさつ、自治功労者表彰（議員2人、職員1人）、来賓祝辞、祝電披露、県政報告が行われた後議事に入り、各市町村（5ブロック）や議長会から提出された議題8件は、県議の皆さんからそれぞれの分野で助言を受け、全て採択となりました。

大会後は、外交評論家の加瀬英明氏から

59回 奄美群島市町村議会議員大会



提出議題を説明する行沢議員



講師の加瀬英明氏

「激動する世界情勢の中で日本はどうあるべきか」アメリカ・中国・中東の今後は過去への日本文化に学ぶこれらの日本」と題して講演が行われました。

徳之島三カ町の提出議題は次のとおりです。

○ 関西・徳之島間のLCC航空路線の開設について

○ 喜界高校に特別支援学校高等部の分教室または特別支援学級の設置を求めることについて（龍郷町・喜界町）

○ 奄美群島航空運賃低減の拡充について（奄美市）

○ 国道58号勝浦～阿木名間トンネルの早期実現について（大和村・宇検村・瀬戸内町）

○ 定期航空路線の開設について（和泊町・知名町・与論町）

○ 複式学級におけるICT（情報通信技術）の導入について（議長会）

○ 産科医及び小児科医が常駐していない離島地域に対する出産支援事業費補助制度の拡充について（議長会）

○ 重要病害虫ミカンコミバエ種群早期根絶・防除へ向けての適切な対応について（議長会）

○ 産科医及び小児科医が常駐していない離島地域に対する出産支援事業費補助制度の拡充について（議長会）

○ 重要病害虫ミカンコミバエ種群早期根絶・防除へ向けての適切な対応について（議長会）

○ 産科医及び小児科医が常駐していない離島地域に対する出産支援事業費補助制度の拡充について（議長会）

○ 重要病害虫ミカンコミバエ種群早期根絶・防除へ向けての適切な対応について（議長会）

○ 産科医及び小児科医が常駐していない離島地域に対する出産支援事業費補助制度の拡充について（議長会）

○ 重要病害虫ミカンコミバエ種群早期根絶・防除へ向けての適切な対応について（議長会）

○ 産科医及び小児科医が常駐していない離島地域に対する出産支援事業費補助制度の拡充について（議長会）



表彰を受ける宮之原事務局長

次回の定例会は9月です

みんなで議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 82-1111（内線331番）



議会傍聴の様子

議員研修レポート

5月12日に鹿児島市で市町村議会議員研修会が行われました。研修の内容について各常任委員がレポートします。

総務文教厚生委員 松田 太志

「アナタはアタシの宝物

～子供のためにできること～

講師 フリーアナウンサー 岡本 安代 氏

岡本氏は、2001年に同じテレビ局のアナウンサーと結婚。3男2女の5人の子どもを出産され、育児と仕事を両立する『ママウンサー』として活躍。現在、レギュラー出演されている料理コーナーは、15年目に突入するなど、自身もフードコーディネーターや食育インストラクターなどの資格を持ち、食への関心も高い。

岡本氏は、講演の中で、子ども5人それぞれに個性があり『子育てしながら、共に育てしながら、互いにも己育てしよう』とふれ、子どもそれぞれの個性を生かし、家庭内において日直を取り入れ、献立選択権などを活用し、子どもたちに役割を持つて生活を楽しんでもらうことで、充実した日々をすごしているとの話であった。

今回の演題のひとつとして「共感」という

テーマを上げられ、子ども誰しも主役にならない。子(ども)、の個性)、それぞれの役割、輝ききっかけを大人が気づき、環境を与える事の重要性を伝えてくれる講演であった。

言葉が違うとほっこりする。

言葉が変わるとこんなに違う「すみません、ごめんね」を「ありがとう」と言う言葉に置き換えることによりその場が和み、周りの方々の言葉の形も変わっていったそうだ。

『子育ては』

- ・ 同じやるなら楽しく。
- ・ 同じやるなら笑顔で。
- ・ 同じやるなら全力で。

『子どもたちは』

- ・ ほめ合おう。
- ・ 認め合おう。
- ・ 許し合おう。

皆様の家庭においても様々な環境がある中で、言葉や子どもの役割などについて、心の片隅にとめていただければと思う。

あくまでも、持論であったが、多くの事について「共感」できた内容であった。

経済建設常任委員長

行沢 弘栄

「地方創生の真の課題」

講師 首都大学東京准教授 山下 祐介 氏

講師の山下祐介氏は1969年生まれ、九大卒。弘前大学準教授を経て現職(都市社会学・地域社会学・環境社会学)。

「2040年までに全国の市町村の半数が消滅する可能性がある」とした2014年5月に発表された日本創生会議の報告、通称「増田レポート」。「地方消滅」議論の口火となった「増田レポート」の批判的な検討を通じて、人口減少社会への対応について「地方創生の真の課題」をテーマに9つの項目にわたって講演を行った。

1. 地方消滅から地方

創生へ
2. 人口減少社会の正体
講演の中で山下氏は、矛盾(1)人口減少問題への警告に對して、人口減少自体がいつたいどういう理由で生じているか不明確なまま対策が進んでいるとし、改めて人口減少とは何か、そのなかで地方は、また農山漁村は、そして何よりも日本社会は、いかなる形で再生し、その存続を図るべきか検討を行う必要があると言われた。分析はなく、単純に若い世代の雇用(仕事)を

つくればいい、保育所の充実（子育て）を政府が支援すればいいという発想になつてゐる。そうしたものでは出生率は上がらないと。結果として家庭から人をさらに引き出し、子育て力を削ぐ可能性もある。また、矛盾（2）「まち・ひと・しごと創生総合戦略」。たしかに地方で人口減少の理由を聞くと、「仕事がない」からである。今回の地方しごと創生は、そうした声に応えたものということもできる。その際、論点

- 生率なのか。（都市化要因説）②地方では仕事がないというが、本当でないのか。そもそも「仕事がない」とは何を表しているのか。（地方低経済要因説）
- 結果として、人口減少・東京一極集中を促進し、新たなバラマキで終わる可能性が高い。更に下記の項目に沿って講演が続いた。
- 3. 大都市圏の暮らしと地方の仕事
- 4. 東京一極集中はどうか
- 5. 農山村で見えてきたものゝ依存がもたらす悪循環
- 6. 首都圏から見える地方創生ゝ勝者は誰なのか
- 7. 有効な対策はあるか
- 8. 経済が暮らしか
- 9. これからの地域政策ゝ地方自治の推進とさまざまな回帰。最後に私たちの町においても強い危機感を持つている少子・高齢化問題。い

議会活動スナップ

平成28年6月18日トライアスロン大会に先立って、天城町B&G海洋センターで、徳之島三カ町議会議員連絡協議会による、第1回奉仕作業が行われました。




新しい議会構成決まる

平成 28 年 第 2 回
臨時会・定例会に
おいて、議長や各
常任委員構成など
を決めました。

常任委員会構成

※総務文教厚生委員会

- 委員長 福岡兵八郎
- 副委員長 富田 良一
- 委員 松田 太志
- 宮之原順子
- 勇元 勝雄
- 幸 千恵子
- 池山 富良
- 木原 良治

各種議員

※三力町議会議員連絡協議会議員

- 委員長 田袋 徹二
- 副委員長 池山 富良
- 委員 福岡兵八郎
- 行沢 弘栄

※議会だより編集委員会

- 委員長 是枝孝太郎
- 副委員長 宮之原順子
- 委員 松田 太志
- 富田 良一
- 木原 良治

※経済建設委員会

- 委員長 行沢 弘栄
- 副委員長 徳田 進
- 委員 鶴野 将光
- 是枝孝太郎
- 保岡 盛寿
- 大沢 章宏
- 住田 克幸
- 田袋 徹二

各種委員

監査委員

- 福 末仁(新任) 母間

選挙管理委員会委員

- 白山 作宝(新任) 亀津
- 村山佐正明(新任) 手々
- 里見 光(新任) 亀徳
- 成岡ひとみ(新任) 母間

同補充員

- 福岡 千勢(新任) 亀津
- 盛田 博二(新任) 井之川
- 元田 浩三(新任) 金見
- 武 勝志(新任) 花徳

副議長



池山 富良

議長



田袋 徹二

議会運営委員会

- 委員長 池山 富良
- 副委員長 福岡兵八郎
- 委員 行沢 弘栄
- 徳田 進
- 富田 良一

編集後記

7月10日、第24回参院選とともに私たちの日常生活に直接つながる鹿児島県知事選が行われた。現職と新人の一騎打ち、新人の元テレビ朝日コメンテーター三田園訓氏が制し、新しい県知事が誕生した。鹿児島県有権者は、新知事に政策として何を望んでゆくの

か、また、知事は「県民視点の改革へ」とのキャッチフレーズで鹿児島をどのように導いてゆくの

か、今後の姿勢を見つめてゆきたい。また、2016年参院選では、18歳・19歳の若者たちが新たに参加し、何を

をもとに自由意志において投票に臨んだのか。有権者一人一人がそれぞれの考えのもとでアベノミクス、地方創生、憲法改正、原発問題、TPP問題、安保法等を論点と

して投票に望んだことは間違いない。選挙の結果有権者は、自公連立与党70議席を認めた。戦後、両院の議席の3分の2を

与党と改選派が獲得したのは、初めてである。最大の争点となったのは、憲法9条を含めた憲法改正ではな

らるか。日本の最高法規である日本国憲法は、103条から成り立っており、改正については、96条第1項に「この憲法の改正は、各議院の総議員の三分の二以上の賛成で、国会が、これを発議し、国民に提案してその承認を経なければならぬ。この承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際行はれる投票において、その過半数の賛成を必要とする。」とある。

なかなか見慣れない法かもしれないが、憲法改正は、一つ一つ法律を踏まえ

て、そのことを踏まえて、皆さんも一度日本国憲法に関心を持ち、憲法の全文を読んでいただきたい。私たちの将来のためにもまた、子ども達のためにも、日本国が、永久に存続するために深く深く考えていただきたい。未来のために。文責 是枝 孝太郎



新しい編集委員のメンバー